

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

各プロジェクトから報告と夏休み中にお願いしたい事 ※以下敬称略

F-教育課程 (担当: 清水)

報告

- ・ワーキンググループ代表: 丸山
- ・7月5日 1学年担任会にて第1回連絡会

2学期に向けて

- ・風越高校の目指す学習者像についてのF-スタイルの学習指導案・授業計画作成 (F-スタイルユニットプランナーを用いた授業)

F-学習指導 (小松)

報告

- ・ルーブリック実践者調整中
- ・8月23日 第1回研究会 (予定)

2学期に向けて

- ・実践する単元決めとルーブリックの作成準備

F-進路指導 (山田)

報告

- ・「世界の中の日本」WG: 国語: 白田、地歴公民: 勝野
- ・「アカデミックスキル」WG: 山田、岩澤
- ・留学講座

2学期に向けて

- ・視察校選定、視察者決定
- ・新学校設定科目の扱う内容について準備を深めていく
- ・留学講座準備

F-評価 (白田)

報告

- ・ルーブリックを用いた授業についての、生徒へのアンケートを作成中。基準を最初に示すことで学習への意欲や主体性に変化があったか、生徒自身に評価させるものです。

2学期に向けて

- ・「ルーブリック実践メンバー」の先生方が授業の実践にあわせて使えるよう、準備を進めています。

IBワークショップ

IB Virtual Workshop

4月2日～4日

- Theory of knowledge (知の理論)** 山田春樹 (F-進路指導)
- Creativity, Action, Service** 清水友輔 (F-教育課程)
- (創造, 活動, 奉仕)

5月12日

職員会議にて報告

8月2日～4日

- History (歴史)** 飯田夏望 (2年担任)
- Japanese A: Literature (文学)** 白田ゆうか (F-評価)
- Theory of knowledge (知の理論)** 岩澤美穂 (F-進路指導)

ワークショップ (WS) とは、国際バカロレアにおける教員研修のことであり、WSのセッションに参加すると、研修参加認定証が授与されます。WSの形式はオンライン、対面、グループセッションといった形式があります。WSは研修レベルにより、3つのカテゴリーに分けられ、IBに対する理解度向上と認定プロセスに合わせて、必要なWSを受講していく必要があります。

ワークショップ (WS) のタイムテーブル例
(コーディネータWSの場合)

TIME/DAY	DAY 1	DAY 2	DAY 3
8:30-10:00	IB アジア太平洋地域代表による歓迎と導入 セッション 1: 国際バカロレアの概要 ・メンバー紹介 ・ワークショップの目的 ・IBの教育とは ・IB機構の歴史と現状	セッション 5: 方針と実践 ・学問の誠実性に関する方針 ・入学に関する方針 ・評価に関する方針 ・言語に関する方針 ・特別な支援を必要とする生徒の受入れに関する方針	セッション 9: DP の中核 ・課題論文(EE) ・知の理論(TOK) ・創造性・行動・奉仕(CAS)
10:00-10:30	Morning Break		
10:30-12:00	セッション 2: 国際バカロレア学習者像と指導と学習の方法 ・学習者と学びのコミュニティー ・指導と学習の方法とは?	セッション 6: 認定・評価までの道のり ・概要 ・認定までの日程 ・提出書類 ・候補校訪問・確認訪問 ・教員研修	セッション 10: DP の成功への鍵 ・コーディネータの重要性 ・ディプロマ資格と大学受験 ・IB 日本語プログラム
12:00-1:00	Lunch		
1:00-2:30	セッション 3: 学校の理念と国際的な視野 ・IB の理念 ・学校の理念 ・国際的な視野	セッション 7: 認定・評価までの道のり ・プログラムの基準と実践要綱	セッション 11: 国際バカロレア・プログラムの推進 ・生徒の確保と維持 ・保護者、理事会への働きかけ
2:30-3:00	Afternoon Break		
3:00-4:30	セッション 4: ディプロマ・プログラム (DP) の概要 ・DP の構造 ・3つの要件 (コア) の重要性 ・カリキュラムと時間制	セッション 8: オンラインカリキュラムセンター(OCC) ・OCC へのアクセス ・プログラムハンドブック	セッション 12: まとめと振り返り ・研修の振り返り ・質疑応答 ・これからの課題
4:30	End of the Day		

・ワークショップの全てのセッションに参加した人には後日「研修参加認定証」が授与 (ウェブ上で各自に配属) されます。